

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	74900 配食サービス事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		27	高齢者福祉の充実	根拠法令	旭市配食サービス事業実施要綱	5	4	1	☒ 主な事業
施策の展開		52	在宅福祉の充実	戦略事業	237 配食サービス事業				☒ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業					☒ 新市建設計画
									☐ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		●日常生活に支障がある在宅の65歳以上高齢者(独居及び高齢者のみの世帯又は、高齢者及び心身に障害のある者のみの世帯)で、調理が困難な者に昼食時に平日5日のうち、週3回を限度とした配食サービスを行うことにより、高齢者の健康保持と安否確認を行う。 委託先: 薄田商店 寿宅食サービス(平成26年度より委託業者変更) ●利用料 1食300円	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・平成13年9月:旧旭市で事業開始(利用者 90人 5,386食) ・平成17年は旧旭市内のみ実施 ・平成18年から市内全域で開始 調理困難な高齢者に対して栄養改善と健康保持を目的として開始。		・ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の増加により配食サービスの利用者が増加している。 ・平成22年要綱改正(週5回から週3回) ・平成26年度より委託業者を変更	・利用者から「おいしい」、家族から「介護の負担が減る」、「助かる」といった意見がある。 ・「口座からの引落しはできないのか」との意見がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)	単位:千円
1.印刷製本費	13 納入通知書発送用封筒代
2.通信運搬費	126 納入通知書発送用郵便代
3.手数料	0
4.委託料	13,675 配食サービス委託料
② 特定財源の内訳(29年度の決算)	単位:千円
1.国庫支出金	2,543 地域支援事業交付金
2.都道府県支出金	1,272 地域支援事業交付金
3.地方債	0
4.その他	8,565 地域支援事業繰入金・配食サービス事業利用収入

事業費	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.印刷製本費	千円	19	11	11	13	14
2.通信運搬費	千円	98	110	117	126	158
3.手数料	千円	11	0	0	0	0
4.委託料	千円	10,434	11,714	12,700	13,675	15,150
事業費計(A)	千円	10,562	11,835	12,828	13,814	15,322
1.国庫支出金	千円	1,962	2,175	2,362	2,543	2,788
2.都道府県支出金	千円	981	1,087	1,181	1,272	1,394
3.地方債	千円					
4.その他	千円	5,155	7,346	7,901	8,565	9,474
5.一般財源	千円	2,464	1,227	1,384	1,434	1,666

前年度増減理由 配食利用者増による委託料の増。

従事職員数 常時 1人 最大 人 × 日 = 延べ 0人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

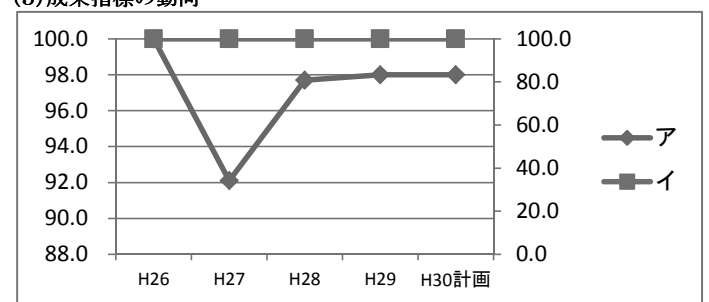
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
手段	29年度実績(29年度に行った主な活動) 日常生活に支障がある在宅の65歳以上高齢者(独居及び高齢者のみの世帯又は、高齢者及び心身に障害のある者のみの世帯)で調理のできない者に昼食時、週3回を限度とした配食サービスと安否確認を行う。 利用者へ利用料の納付書を発行。	ア 利用人数	人	191	198	217	244	260
		イ 年間配食総数	食	13,912	15,618	16,933	18,233	20,200
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
目的	対象 65歳以上で市内に住所があり、日常生活に支障がある一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯と高齢者及び障がい者のみの世帯の高齢者 意図 栄養バランスのとれた弁当を食べて、健康が保持される。 対象 65歳以上で市内に住所があり、日常生活に支障がある一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯と高齢者及び障がい者のみの世帯の高齢者 意図 安否確認がされ、安心した生活を送ることができる。	ア 配食サービス利用率(利用者／申請者)	%	100.0	92.1	97.7	98.0	98.0
		イ 安否確認を行った割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③	(2)		
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	向上	横ばい
成果指標ア			☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下		
成果指標イ			☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下		
【コメント】 (低下の場合、その理由)					
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持	見直し
H30年10月		利用料金の納付代行の可否について検討する。	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()
平成30年 利用者が年々増加しており、業者の受入れの負担もあるため、対象者把握に注意し実施していく。また口座引落しについては、ニーズを確認しながら検討を重ねていく。					